

大会速報 1日目(8/27)

ついに、学生フォーミュラ日本大会 2019 が開催されました。8月27日から31日までの5日間、小笠山総合運動公園にて行われます。この1年間の集大成を発揮する場です。

第17回を迎える今大会初日、午前中は曇り空で涼しい気候でしたが、夕方から雨が降り、各チームは対応に追われました。弊チームも、ピットや車両周りの雨対策に一苦労しましたが、ほぼ予定通りに日程を進めることができました。

10時半ごろ現地に到着し、受付のために車両の組み上げを行いました。その後、明日朝一で行われる車検に向けての車両整備を行いました。

午後3時半から行われたコスト審査では、メンバー全員が審査へ参加するのが初めてであったため、学ぶべきことが多くありました。設計するマシンの価格が性能に見合うような妥当なものかどうか、そして事前に提出した書類との整合性を見るコスト審査は、車作りにおいてとても重要な要素なので、次年度に向けての課題のひとつです。

次に行われたデザイン審査では、実際のマシンを目の前に、各セクションの代表が自ら設計や製作したパーツについて審査員からの質問に熱心に答えていました。正確な点数は後日送付されるスコアシートに記載されますが、特にパワートレイン部門は好印象でした。

以上で本日の日程は終了となりました。

2日目は、技術車検やチルト(車両傾け)テスト、騒音試験といった車検審査、また、静的審査のプレゼン審査を行います。明日の速報も是非ご覧ください。

